

第1回 子どもの臨床セミナー

「小児がんのトータルケアと子どもへの告知」

遊びのボランティアの17年を超える活動は、遊びは子どものいのちであり、子どもの臨床に不可欠な要素であることを明確にしています。さきのシンポジウム「柳田邦男さんと子どもの緩和ケア」においても医療は医師、看護師だけで全うできるものではない、ボランティアをチーム医療の一員としての位置づけ、仕組みをつくることの重要性を医師自らが語っています。私たちはシンポジウムの論議を引き継ぎ、発展させるために「子どもの臨床セミナー」を開催することになりました。

第1回は「小児がんのトータルケアと子どもへの告知」をテーマに、国立がんセンター中央病院小児科医長の牧本敦先生を招いて開きます。「子どもの権利条約」は、子どもにも人間としての権利が当然ことながら存在することを詳しくうたっています。医療行為について子どもの賛意を得るべきだとの考えの根拠にもなっています。告知もその1つです。

遊びのボランティアの活動は、プレイルームからベッドサイド、ICUへと入院児のニーズに対応して、さまざまな取り組みがなされていますが、入院児の年齢、病状、家族関係など複雑にからみ深い関わり、寄り添うことの難しさが増しています。セミナー等によって病気や医療に関する知識、病気の子どもに対する理解などを深め、病気の子どもと家族へのサポートをより実効のあるものにしてゆきたいと考えています。

テーマ 「小児がんのトータルケアと子どもへの告知」

日時 2009年6月6日(土) 14時～16時 (受付は13時半～)

終了後茶話会もご用意しています。

会場 国立国際医療センター 国際協力研修棟5F 大会議室

(地下食堂前のエレベーターをご利用ください)

講師 国立がんセンター中央病院小児科医長 牧本敦

小児および若年成人に発生するがんの内科治療に対応する実地臨床家。年間100名以上の小児および若年成人のがん患者診療に当たっている。

米国テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター 小児血液腫瘍科クリニカルフェロー

社会活動として、NPO 法人小児がん治療開発サポート(サクセス)事務局長

参加費 無料 (必要な方のみ資料代500円)

申込方法

① 氏名 ②所属 ③住所 ④連絡先(電話かファックスかメール)を明記のうえ事務局まで送ってください。先着順(100名まで)

② 事務局 〒135-0053 江東区辰巳1-8-3 1-305 電話: 03-3521-1435(FAX 兼)

PCメール a.so.vo@y3.dion.ne.jp